

「2019年度経営学部 FD 活動方針・活動計画」にもとづき、以下の活動を行った。

## 1. 学生および保護者の意見聴取

### (1) 成績優秀者の学部長表彰式および懇談会

2019年6月19日(水)13時30分から14時40分、2年次生以上の成績優秀者15名に対する表彰を行った。成績優秀者は15名のうち13名が出席した。そして学生から経営学部および大学への要望を聞くことを目的として、教員との懇談の場を設けた。学生からは、講義運営、クォーター制に伴う時間割編成、成績評価、キャンパス環境などについて多様な意見や質問が出され、教員がその場で回答できる内容については、出来る限り回答した。また、他の意見、要望等がある人は、配布用紙に書いて、経営学部事務室に提出するようこの依頼をした。この懇談会の内容を文章にし、教授会において学部長・学科長が報告した。懇談会に出席していない教員にも情報が共有された。

### (2) ゼミ長会議

2019年6月19日(水)15時から16時20分、各ゼミのゼミ長46名と学部長・学科長が出席し、ゼミ長会議を行った。学生からは、ゼミの運営に関する意見や要望に加え、大学に対する幅広い意見や要望が出された。成績優秀者の懇談会で得られた意見とは異なり、“学内にコンビニが少ない”とか、“試験の時間割発表が1週間前では遅い”とか、“クォーター制になったのに、成績発表が遅い”との全学レベルの対応が必要とされる意見もあった。これらの要望を含む内容は、教授会の席において学部長より報告され、学部教員にも情報共有された。

## 2. FD 研修会の実施

ウェブクラスは、資料配布、レポート受け付け、アンケート実施、出欠確認などの機能があり、すでに多くの教員がクラス運営に活用している。しかし、教員間の活用幅には差があり必ずしもフルに活用されているとは限らない。それに加えて、まだ導入したことのない教員においては導入を検討するきっかけが必要であるという声もあった。そこで、既活用教員による活用例から運営上のノウハウまでを含む情報を共有する研修会を勉強会形式で開くことにした。

研修会ではウェブクラスの機能と使い方をめぐる多くの意見交換があった。それを通してこれまで使用したことのない教員と一部の機能しか使用してこなかった教員にとっては情報共有ができ、全体的にはFD向上に役立てるきっかけとなった。

-----

開催日時：2019年1月15日(水)16:00～17:20

開催場所：名古屋キャンパス J棟 J55 教室

話題提供者：中島 裕喜(南山大学経営学部教授)

南川 和充(南山大学経営学部教授)

タイトル：ウェブクラスの実践とその背後にあるもの

-----

### 3. 「基礎演習AB・CD」担当教員ミーティングと授業内容データベース作成

2019年7月3日(水)および11月27日(水)、名古屋キャンパスJ55教室において、「基礎演習AB」「基礎演習CD」の担当教員ミーティングを実施した。事前に、当該科目を担当する教員が、各クラスの授業内容、使用教材、運営方法、気が付いたことをポルタに登録した。そして、登録内容をデータベース化した。

ミーティングではデータベース化した内容を参照し、質疑応答をおこなった。担当教員がそれぞれの特徴を活かした授業を実施していることが明らかになり、よりよい授業を実施するためのアイデアを交換する場となった。たとえば、グループ作りの方法や学生の自発的な発言を引き出す工夫についての意見交換があった。

また、学生の状況についても情報を共有し、学部全体として基礎演習の運営の基本方針や留意点を明確にした。そして春学期から秋学期、また2年次生への移行がスムーズに行われるよう、担当者間での引き継ぎを行った。

### 4. 教育・研究業績リストの掲載

教員の研究教育上の資質向上をめざし、学部教員の前年度1年間の教育・研究業績リストを、学内紀要『南山経営研究』に掲載した。

### 5. 学生アンケート調査結果の情報共有

経営学部生(1年生と卒業年次生)を対象としたアンケート調査結果が、前述の「基礎演習AB」担当教員会議で報告された。経営学部の選択理由や、学生生活の振り返りのデータをもとに、経営学部の特徴や課題を教員で共有した。

以上